

第95回東北地方交通審議会  
船員部会議事要録

平成28年9月23日  
東北地方交通審議会  
船員部会事務局

# 東北地方交通審議会

## 第 9 5 回 船員部会

日 時 平成 2 8 年 9 月 2 3 日 (金) 1 5 : 3 0 ~

場 所 仙台第 4 合同庁舎 4 階会議室

出席者 公益委員：長谷部部会長、高橋(真)部会長代理、佐々木委員、  
森委員

労働者委員：正路委員、鈴木委員(欠席)、高橋(雅)委員

使用者委員：佐藤委員(欠席)、鶴本委員(欠席)、平岡委員

運輸局：菅原海事振興部長、阿部海事振興部次長  
峯田船員労働環境・海技資格課長  
澤村船員労政課長、佐々木労政係長

議 題 (1) 管内の雇用等の状況について  
(2) その他

### 配付資料

- 資料 1 船員職業安定業務取扱状況説明資料(7月分)
- 資料 2 新規求人・求職数(東北管内：3年対比)
- 資料 3 有効求人・求職数(東北管内：3年対比)
- 資料 4 新規求人・求職数(全国)
- 資料 5 有効求人・求職数(全国)
- 資料 6 有効求人倍率(東北管内)
- 資料 7 有効求人倍率(全国)
- 資料 8 船員の特定最低賃金の改正に係る意見聴取の公示
- 資料 9 平成 2 9 年度 海事局関係 予算概算要求概要
- 資料 10 新聞情報

## 議 事 概 要

### ◎開 会

【阿部海事振興部次長】

〔第94回船員部会の成立状況について報告〕

〔配付資料確認〕

### ◎議 事

(1) 審議事項

【長谷部部会長】

それでは、議事に入りたいと思います。

議事次第の(1)「管内の雇用等の状況について」、事務局からご報告をお願いいたします。

〔澤村船員労政課長より資料1から資料7に基づき報告〕

【長谷部部会長】

では、ただいまの内容につきまして、ご意見、ご質問等ありましたらどうぞ。

【正路労働者委員】

確認ですが、資料1「離職船員の取扱状況」の上のほうには「7月末現在」と書いてありますが、下の「5. 職業転換給付金支給状況」には「28年6月」となっていますが・・・。

【澤村船員労政課長】

間違いです。7月でございます。失礼いたしました。訂正をお願いできればと思います。

【長谷部部会長】

修正方お願いいたします。ほかにいかがですか。高橋委員、よろしいですか。

(「はい」の声あり) ほかにいかがでしょうか。

なければ、ご報告いただいた内容でご了承いただいたということで進めさせていただきますが、よろしいですか。ありがとうございます。

(2) その他

【長谷部部会長】

では、次に議事次第の議題(2)その他に入ります。

添付資料の8から9まで、事務局の同じく澤村課長からご説明いただきます。

[澤村船員労政課長より資料8から資料9に基づき説明]

【長谷部部会長】

ありがとうございました。何かご質問、ご意見等ございますか。

それでは、何もないということで、次に進ませていただきたいと思います。

では、委員の方々からの資料提供ということで、まず公益委員の森先生のほうからよろしく願いいたします。

[森公益委員より当日持参された「年度別求人状況比較」に基づき説明]

【森公益委員】

各学校、本校でいいますと45人定員ですが、2年生は4月から12月までの9カ月間、海技教育校の練習船で乗船実習に出ます。通常の短大、大学と一緒に3月1日以降に求人が受付になっていますが、就職試験は第1船が6月10日に終わって下船してきますので、6月10日から7月1日の20日間。それからまた7月1日から9月10日まで乗船しますので、その後の9月10日から10月1日までの20日間。10月1日からまた12月10日まで乗船しますので、この9月の20日間が就職試験のピークになります。今のところ45名中、3分の2弱ぐらいは内定している状況です。ここ数年100%の就職率ですので、最終的にはそのような形になるのかと考えます。

以上です。

【長谷部部会長】

初めて就職状況の実態を勉強させていただきました。どうもありがとうございます。何かご意見、ご質問等ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、次に、使用者委員の側からということで、平岡委員から資料提供あ

りがとうございます。よろしく申し上げます。

**【平岡使用者委員】**

9月7日に日本内航海運総連合会で内航船員確保対策連絡協議会が開催され、東北内航船員対策連絡協議会の会長として出席しました。四国地方など、求人倍率が4倍を超えており、西日本における船員不足の深刻さというのを痛感させられました。また、内航海運のPR活動においても、出前講座や体験航海などの対象を小学生や中学生まで拡大しており、その意気込みも感心させられました。

協議会の中で課題となったのは、東北地方の水産系高校卒業予定者の中に、内航貨物船員への就職希望をしている生徒が多いのに、東北内航船員対策連絡協議会としてインターンシップなどのPR活動を行っていないということでした。

今後は、関東地方船員対策協議会など他の地方と連携して、内航海運のPR活動を行うことといたしました。

この資料の数字を見ますと、東北は水産高校の数が全国的に比べ多く、その中でも内航船員を希望している生徒が多い。にもかかわらず、東北としてPR活動を行っていない。西のほうでは船員不足でかなり深刻な問題となっておりまして、この生徒をいかに内航というか船に乗せるかということが課題となっています。東北では水産高校はなかなか即戦力とならないものですから、それよりも海上技術短期大学の生徒が欲しいというのが実態です。でも、西のほうでは求人を出しても全然話にならないので、水産高校の生徒に目を向けるしかないということでありました。

以上です。

**【長谷部部会長】**

ありがとうございました。見通しのよい話をありがとうございます。何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

**【森公益委員】**

先ほども話しさせてもらったんですけども、本校は「指定校推薦」というのをやっておりまして、ほとんどの水産高校が指定校になっています。数は公表できないのですが、今年受験者が去年の1.5倍ありまして、先ほどの話じゃないですけども、水産高校から本校に来て内航船に乗ろうという、あるいは内航船を目指している生徒さんが多いのかなというところです。

**【長谷部部会長】**

ありがとうございます。何かいろいろミスマッチングのようなところも、制度的にあるのでしょうか。円滑な労働力市場が形成されますようにご協力ください。

何かほかにもございますか。なければ、意見交換、情報交換・提供ということで、では労働者側のほうからお願いできますか。

**【高橋（雅）労働者委員】**

それじゃ私のほうから。11月の話ですが、11月8日から11日までの4日間、東京で組合の全国大会が開かれます。今年は2年に1回の活動の基調の年でありまして、活動自体はずっと引き継がれますが、重点的な部分の見直しというような内容になっています。また、2年に1回の役員の選挙という年になっています。

あともう1点、今ちょうどサンマの時期で、なかなか漁も芳しくなかったということですが、先週あたりから大分水揚げがよくなり、北海道と三陸の水揚げを合わせると、1日当たり大体2,000トンほど揚がってきています。漁場も片道1日程度かかっていたのが、片道半日くらいのところまで近い漁場に変わってきているという状況です。値段のほうも結構捕れてくるとだんだん下がってきて、庶民の方々にはいい値段で提供できるかと思っております。

これからどういう状況になるかわかりませんが、魚体はちょっと痩せ型という感じですね。

**【長谷部部会長】**

先週あたりから、ニュースでサンマが買えるようになったという話を見ました。もっと安くなる……。

**【高橋（雅）労働者委員】**

多分もう少し安くなっていくんじゃないかと思えます。

**【長谷部部会長】**

では、期待して待ちたいと思えます。

役員改選では、誰か特別な人が……。

**【高橋（雅）労働者委員】**

今のところ何も聞いていません。そのまま継続されていくんじゃないかと思えます。

【長谷部部会長】

何かございますか。ご質問等。よろしいでしょうか。

では、使用者委員として平岡委員一人だけですが、よろしく願いいたします。

【平岡使用者委員】

いや、先ほど情報提供しましたので。

【長谷部部会長】

そうですか。どうもありがとうございます。では、ご質問等、ほかにはございませんね。

それでは、議事は終了ということで、よろしいですね。それでは、終了とさせていただきますと思います。

次回の船員部会ですが、10月28日午後3時半から、会場はここ4階会議室で開催いたします。

◎閉 会